



# 猫新聞

郵便振込口座  
00830-2-204941 Go!Cats  
ホームページ  
http://go-cats.main.jp/index.html

**Go!Cats**

ゴーキャッツは浜松市を中心に、飼い猫・野良猫の不妊手術推進、猫の譲渡会開催などの活動をしています

## めざせ！満点飼い主 9月20～26日は動物愛護週間です

今年も動物愛護週間がやってきました。テーマは『めざせ！満点飼い主』。全国のペットフードメーカーなど 80 社で組織するペットフード工業会が 2008 年に行った調査によると、日本では現在 1373 万 8000 頭の猫と 1310 万 1000 頭の犬が人と共に暮らしているんだそうです。

この全ての犬や猫が満点飼い主さんの元で幸せな日々を送っているものと信じたいところですが・・・

現状では飼育放棄された犬や猫が保健所に持ち込まれたり、捨てられたりといったことが後を絶ちません。

ペットを迎えるということは、家族の一員として、その命に責任を持つということです。

これから犬や猫を飼おうと思っている方は、必ず生涯面倒をみるという覚悟も持って迎えてください。

「ペットショップで一目惚れしたから」「癒されたいから」「子供にせがまれたから」「流行っているから」といった理由は、ペットを飼い始める動機のひとつではあるでしょうが、ここでさらに“熟考スタート！”です。

5年先、10年先、15年先の自分とペットの姿を頭に思い浮かべながら、「本当に命を預かって大丈夫かどうか」をじっくり考えてください。

そのお手伝いとして、迎える前の要チェック事項をいくつか挙げてみます。

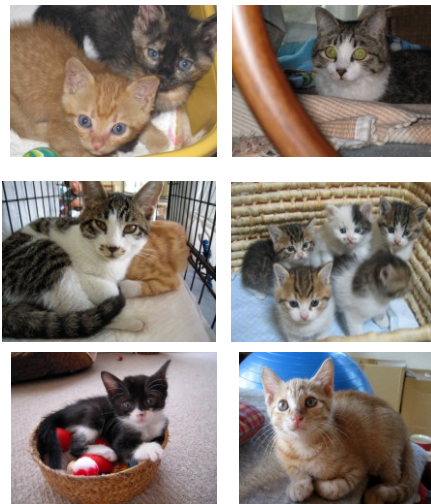
- 家族みんなが飼うことに賛成していますか？
- 家族に動物アレルギーの人はいませんか？
- ペットの飼育が可能な住環境ですか？（賃貸住宅の場合は家主さんの許可がありますか？）
- 毎日の世話に時間と手間をかけられますか？たっぷり遊んでやれますか？
- ペットが年をとって、世話が大変になっても大丈夫ですか？
- 動物の習性や病気のことについて勉強してみましたか？
- 病気やケガをした時、病院で適切な治療を受けさせてやることができますか？
- フード、病気やケガの治療、健康管理など、ペットの一生にかかる費用を考えてみましたか？
- ご近所や他人に迷惑をかけない飼い方ができますか？
- 転勤や引越しのときも、ペットを連れて行くことができますか？
- 万一飼えなくなったとき、ペットを安心して託せる人はいますか？
- 旅行や外出が難しくなったりもしますが、我慢できますか？
- 今がペットを迎える適切な時期なのでしょうか？もっと後ではいけませんか？



動物愛護週間ポスターコンクール  
最優秀賞受賞作品



## 里親さん募集中



たくさんの猫たちが本当の家族に  
出会うの日を待っています。  
お問い合わせは事務局まで。

### 猫の不妊手術助成キャンペーン

公園や庭先でエサを与えているネコたち、近所に住みつけたネコたち、避妊・去勢手術は済んでいますか？餓死したり、保健所に持ち込まれ殺処分されるような不幸な仔猫を産ませないために、またご近所に迷惑をかけないために、是非不妊手術を受けさせましょう。Go!Cats では、飼い主がいない猫の不妊手術に助成金を出しています。協力してくださる動物病院もご紹介いたしますし、捕獲の方法もアドバイスいたします。適用条件がありますので、まずは電話でご相談下さい

### 「猫を譲る会」開催予定

- 第1日曜日：ペット愛ランド早出町店2F
- 第2土曜日：偶数月 ラブ・フォー・ペッツ  
奇数月 熊平動物病院
- 第3日曜日：ペット愛ランド志都呂店2F
- 第4日曜日：西山会館

毎月第4土曜日には、遠鉄百貨店正面玄関前にて「小さな命について考えるパネル展」を行っています。

※譲る会もパネル展も、場所や日時を変更することがあります。

# 目指すは「殺処分0（ゼロ）！」

## 熊本県動物管理センターの取り組み

自治体が捕獲したり、飼い主から引き取ったりした犬の8割に当たる約11万匹が毎年、全国で殺処分されている。そんな中、熊本市は犬を飼い主に戻すことや新たな飼育者探しを続け、処分率を全国トップクラスの2割以下に減らしている。「殺処分をなくそう」を合言葉にする同市の取り組みが注目されている。

悲しげな目をした犬が「ガス室」に送られ、殺される場面がビデオで流れる。熊本市動物愛護センターで週1回ある譲渡前講習会。保護された犬を譲り受ける飼い主は、必ず受講しないとイケない。2年半前から始まった。ある日の受講者は女性2人。ビデオ放映後、獣医師の斉藤由香さん(27)がペットの面倒を一生みる「終生飼養」の大切さを講義する。

「犬を飼うのは簡単ではありません。本当に飼えるのか、考えて決めてください」。参加した主婦(47)は「子どもを育てると一緒なんですね」とうなずく。

かつて熊本市は一週間程度保護して処分していた。この“流れ作業”に変化が起きたのは2002年。終生飼養をうたう動物愛護法の理念を生かし、動物愛護推進協議会を発足させ、生存率を上げる取り組みを始めた。迷い犬を飼い主に戻そうと、保護した犬を紹介するホームページもこの年、開設した。

センターの職員は憎まれ役も辞さない。娘と一緒に認知症の犬を連れてきた母親に「家族同然の犬を捨てていいんですか。娘さんはお母さんの背中を見て泣いていますよ」と翻意を促す。転勤などで犬が飼えなくなる場合、新たな飼い主を探すよう求める。それでも、引き取りを求める人には「犬を飼う資格はない」と非難することも。

地道な努力が実を結び、熊本市の07年度の犬の引き取り数は1998年度の1割の52匹に減った。飼い主に返還する犬も増え、98年度に12.4%だった生存率が07年度は82.1%に上昇した。

現在は保護する犬が50匹を超えた場合に処分する。年々、引き取り数が減っているため、保護期間が長くなり、餌代が増えた。増加分は市民やボランティアの寄付で賄っている。

熊本市は4月からセンターの職員が小学校で動物の命の大切さを教える出前授業も始める。命を軽んじる事件が後を絶たない今だからこそ「殺処分ゼロ」を目指す熊本市の挑戦が、ほかの自治体にも広がってほしい。(熊本総局・野村創)

2009年3月12日西日本新聞より



## 命拾いのラーゴ君

一昨日の夜中のこと。

友人がいつものとおり深夜の猫回り（エサやり）に出かけたところ、若い女の子達が側溝を覗き込みながら何やら思案していたそうで、元々おせっかいな？友人は「なになに、どうした？お財布でも落とした？おばさんが探してやろうか？」と声をかけました。話を聞いてみると、ちっちゃな仔猫が2匹で側溝の上を歩いていて、そのうちの1匹が穴から落ちちゃったんだとか。

中でミャーミャー鳴いてるから助けてやりたいけど、コンクリートのふたが重くてビクともしないと。

話を聞いた友人は、とっさにテレビで見た崖っぷち犬救出のニュースを思い出しました。

ダメ元でと消防署と交番に電話をしてみたところ、ダメどころか、ナント消防署員もおまわりさんも駆けつけて皆で救出にあたってくれたのだそうです。イザという時はやはり頼りになりますね。

「随分時間がかかったけど、重いふたをどかし、猫をつまみあげてくれた時は思わずみんなでバンザイしちゃったよ」と後で事の顛末を興奮気味に話してくれました。1匹は女の子のうちの誰かが連れて帰ってくれたそうなので、1匹をGo! Catsで引き取りました。怖い思いをしたので今はまだケージの隅っこで固まっています。だんだん慣れてくることでしょう

知人がおせっかい屋さんで良かったなとつくづく思います。女の子たちが「かわいそうだね〜」「でも、フタが動かないからしょうがないよね〜」とあきらめて帰ってしまわなくて本当に良かったと思います。猫の名は命の恩人の女の子たちが勤めている美容院の名前からいただきました。

「かわいそう〜」なら 「助けなきゃ！」です